

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ころこ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用児童や保護者様に寄り添った支援を行っている。	その日のお子さまの状況や状態に合わせて活動に参加してもらっている。日々の打ち合わせや振り返りでお子さまの様子を話し合い、次回の療育に活かしている。また、ご家庭や関係機関からの情報も共有し、支援に活かしている。	送迎時や来所時にお子さまとの雑談の中でその日の状況を把握する。療育の質を向上するため、特性に合わせた支援を職員で共有し提供する。また、ご家庭や併用デイなどから情報を収集し、お子さまとご家庭のニーズにあった支援を提供していく。
2	季節に合った活動やイベントを取り入れ、様々な経験ができるよう対応している。	室内活動、戸外活動を組み合わせている。音楽療育、レクレーション、制作活動、お誕生日会、運動活動等の設定活動と、自由遊びも大切にして、お子さまの協調性と自主性を尊重している。	例年行っている海水浴、お祭り、クリスマスイベントの他、外出イベントや新たなイベントも取り入れ、お子さまに様々な経験をしてもらえるように工夫して支援の幅を広げていく。
3	保護者様や関係機関からの情報提供やご相談をしっかりと聞き取り、活動に活かせるよう打ち合わせで共有している。	面談などで直接お会いすることができない保護者様には、連絡ノート、メール、LINE等を活用し、活動内容やその日のご様子をお伝えしている。関係機関からもお子さまや保護者様の情報をいただいている。聞き取れた情報は、すぐに打ち合わせや振り返りにて共有している。	引き続き、定期面談、連絡ノートやメール、LINE、電話連絡の他、保護者様のご要望に応じて適時面談や支援会議に参加する。保護者様の求めに応じた対応をできる限り迅速に関係機関と協力して行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民を招待する活動機会が少ない。	現在、イベントは職員とお子さまによる、室内イベントか外出イベントがメインである。近隣住民を招待する機会はない。事業所とご利用者様の事情をご理解した上で、個人情報に配慮し、外部講師やボランティアによるイベントを行っていた。お子さまが通所支援をご利用していることにデリケートな保護者様もいらっしゃるため、個人情報の保護に配慮が必要である。	個人情報に十分配慮しながら、併用事業所や市内事業所間で連携をとり、共同開催行事を企画開催できるように前向きに検討いたします。また、避難訓練などの活動へ近隣の方にお声かけすることも検討しています。
2	保護者様同士が交流できる機会が少ない。	現在、保護者様参加のイベントは、親子参加のお祭りイベントのみである。保護者様のご利用目的や交流に対する思いが様々であり、保護者様同士が交流できる機会が必要かどうかを精査していく必要がある。	個人情報に十分配慮しながら、保護者様同士の連携ができる場の設定について、保護者様の求めに応じて前向きに検討いたします。
3	地域の子もたちと交流する機会が少ない。	イベント外出時や公園外出時に、地域のお子さまと現地にて交流することはある。事業所での活動時間の都合上、交流する機会が少ない状況である。	個人情報に十分配慮しながら、公園や外出先で交流する機会他に、保護者様と関係機関に確認をとり、必要に応じて市内事業所や幼稚園、保育園、児童クラブとの交流も検討いたします。